

Rotary



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2017～2018 年度 高山中央 RC 会長テーマ

「いま結束のとき！ 目指そう、新たなる境地!!」

ロータリー：
変化をもたらす

◆会長 中田 専太郎 ◆幹事 谷口 欣也 ◆会報委員長 大原 誠 ◆会報担当 永井 信次

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	会長支持率
本日 1169 回	56 名	56 名	51 名	—	91.07%
前々回 1167 回	56 名	56 名	47 名	4 名	91.07%

<点 鐘>

会長 中田 専太郎

<ロータリーソング>

我等の生業

<四つのテスト>

<会長の時間>

会長 中田 専太郎

皆様こんにちは。

いきなりですが、お相撲さんはゲンを担ぐことが多く、例えばマワシは一度締めたものは、どんなに汚れても絶対に洗わないらしいです。

角界以外にも一般社会で、迷信やジンクスに類するものは多々あります。

例えば、「北枕」です。

これはお釈迦様が涅槃に入られたときに、北枕だったことから、死んだ人が極楽浄土へ行けるように、ということからそうなったようです。縁起が悪いわけでは決してなく、むしろ風水では推奨されているくらいです。科学的にも地球の磁場が北と南にあり、磁気が南から北へ流れているので、それに則して寝た方が血行が良くなる、なんてことも言われているみたいです。でも、やっぱり北枕は、ということと敬遠させているのではないのでしょうか？

また、六曜（ろくよう）には、「先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口」があって、今でもカレンダーにはほとんど普通に載っています。ということは、これが行事の開催日の決め手になっていることが、いかに多いかを表しているのではないのでしょうか？

しかし、遠い昔に中国から伝わって来たこの六曜も、仏教とはなんの関係もないということです。だいいち当の中国では、とうの昔に廃れてしまっていて、これを問題にする人などいないということです。

そう言えば「盛り塩」をしているお店も、昔と比べると少なくなった気がします。私は、総和保育園、西小学校、中山中学校に通っていましたが、ほぼ毎日昼下がりや夕暮れの一歩街を通っておりました。昔はよく盛り塩を見かけましたが、最近は少なくなっているような気がします。今でも毎日一歩街を通っているワケではないですが……。この「盛り塩」、実は効果観面だったということご存じですか？

これは遡ること秦の始皇帝の時代。

始皇帝にはおよそ約 3000 人のお妾さんがいたそうです。毎晩「さて今宵の相手は・・・」と牛車で探したらしいのですが、その際、牛車が停まった宿をその晩の宿泊先として決めていたそうです。

3000 人もいますと知恵の働くお妾さんもいるもので、牛が塩を好むことに目を付け、牛車が通りかかる時間帯に塩を玄關に置いたということです。勿論、牛車はお望み通りに、塩のあるところで歩を止めるワケです。

それがそのまま縁起のいい「盛り塩」に繋がったという説もあるのです。

さて、我々 RC にもそのようなジンクスめいたものがあるのでしょうか？

ちょっと調べてみましたら、これが結構ありました。

例えば「国際大会に出席したロータリアンでクラブを辞めた者はいない」というものがあります。本年も 6 月 23 日から 27 日まで、カナダのトロントで国際大会が開催されますが、皆様如何でしょうか？

<幹事報告>

幹事 谷口 欣也

◎R I 本部より

・ザ・ロータリアン誌

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より

・韓国第 3600 地区年次大会

交換交流派遣学生募集のご案内

・バギオだより

・5 月のロータリーレート 1\$ = 108 円

・財団室ニュース

○高山西ロータリークラブより

・例会変更のお知らせ

5 月 18 日(金)→19 日(土)

8:00～新緑家族例会 金沢市

<飛騨高山国際協会より>

・平成 30 年度通常総会開催のご案内

日時：5 月 7 日(月)16:00～17:00

会場：高山市役所 3 階会議室

<高山市青少年育成市民会議より>

・平成 30 年度総会のご案内

日時：5 月 30 日(水)17:30～21:00

会場：高山市役所 地下市民ホール

・平成 30 年度高山市少年の主張コンクール実施に伴う後援名義使用の依頼



<高山市都市提携委員会より>

・平成 30 年度定例会の結果及び会費納入について

<飛騨慈光会後援会より>

・第 13 回総会のご案内

日時：5 月 12 日（土）15：00～

会場：飛騨慈光会 新高山山ゆり園ホール

<会報>

・美濃加茂 RC ・可茂 RC ・下呂 RC

<米山記念奨学生の紹介>

カウンセラー 山本 辰男



氏 名：LE VAN TRI (レバンチ)

奨学期間：2018 年 4 月から 2019 年 3 月まで

所属大学：岐阜大学工学部 4 年生

国 籍：ベトナム

<レバンチさん挨拶>

入学以来、研究テーマとして「補完コンクリートの耐久性」について取り組んでいます。

大学院にも進み同じテーマを研究して参ります。米山奨学生に選んで頂いたことを感謝すると共に一年間よろしくお願ひします。



<高山中央未来委員会>

副委員長 清水 幸平

皆さんこんにちは。

本日は高山中央未来委員会の担当例会です。

中央未来委員会は、クラブ活動の中長期的なビジョンを検討して具体的に提言し、また、これに適した管理運営ができるよう、クラブ細則・内規の確認や変更などを提案するといった役割を担っております。

今年度は、2 度の運営会議を開催し、未来に向けて、いかなる内容を提言していくか検討して参りました。

前年度、R I の意向により、すべてのクラブ定款は大幅に柔軟な内容となりました。例会の回数や、職業分類につい

て柔軟な内容となりましたが、高山中央 RC では、職業奉仕の視点から、これまで通りのクラブ運営をしていく方針が確認されています。

そのうえで、本日は、中長期的なクラブ活動の方針として、多年度に渡る活動の方向性について、皆さまよりご意見を頂戴したいと考えております。

前回、11 月の担当例会に際して、各テーブルにてご意見を出し合っていたく予定としておりましたが、スピーチなどの時間の都合により、実施することができませんでした。

本日の例会において、改めて皆さまから未来の高山中央 RC に向けたご意見を集約させていただき、次年度へと引き継いでいきたいと考えております。

当クラブでは、すでに R I 会長賞への取り組みや青少年育成、親子体験講座の企画など、中長期に渡り継続している事業がございます。

今後の課題として、中長期に渡る事業として、いかなる事業に注力していくか、また、グローバル補助金を活用した事業にいかにして取り組むべきか、といった項目が考えられます。

さらに、当クラブのあるべき姿として、いかなるスタイルを理想とするか、アンケート形式にて回答いただきたいと思ひます。

10 年後の当クラブをイメージしつつ、各テーブルにて話し合い、どなたかお手数ですが仕切り・書記をお務めいただきつつ、議論していただければ幸いです。

それでは、皆さま宜しくお願ひ申し上げます。



<5 月のお祝い>



<会員誕生日>

小出 貴博	S 4 6 年	5 月 1 2 日
高橋 厚生	S 4 9 年	5 月 2 0 日
島 良明	S 2 4 年	5 月 2 6 日
道下 利一	S 4 1 年	5 月 2 8 日

<夫人誕生日>

堀口 裕之	潤子	5 月 3 0 日
-------	----	-----------

<結婚記念日>

岩垣津 亘	S 5 3 年	5 月 8 日
中田 専太郎	S 5 8 年	5 月 2 1 日
高橋 厚生	H 1 5 年	5 月 2 4 日
松之木 映一	S 5 4 年	5 月 2 6 日

おめでとうございます

<ニコニコBOX>

軽スポーツボウリングで優勝させて頂きました。

三枝 祥一

軽スポーツ例会、休みましてすいませんでした。胆石でした。一応、石は出たようです。石持家系であることを忘れていました。

前越 路子

本日配布されたガバナー月信の 3 ページの「青少年奉仕月間によせて」および 9 ページの「一年を振り返って」の二つの記事を投稿させて頂きましたのでご案内致します。9 ページの記事は、青少年交換委員会の記事と入れ違いになっておりますので訂正をお願いします。

下田 徳彦

4 月は休んでばかりですみませんでした。本日より息子が東京より帰ってきて一緒に仕事をするようになりました事に感謝して。

岡崎 壮男

今年もカンボジア医療ボランティアに参加しました。色々ありましたが無事に帰ってこられたことに感謝して。

益田 大輔

連休中は、三枝さん・伊藤さんご苦労様でした。マニラでは誰でもみんな社長だよ。

周 信夫

再植樹



日 時：5月9日(水) 13:30~14:30

場 所：飛騨高山高校演習林：森林たくみ塾に隣接

平成 22 年 10 月 22 日に、クラブ創立 20 周年記念事業として、飛騨高山高校環境科学科の生徒さんと共に実施した植樹の成果を調査した結果、コナラ 120 本植樹（内 66 本生育）、クヌギ 20 本植樹（内 10 本生育）、ケヤキ 20 本植樹（内 9 本生育）、合計 160 本植樹（内 85 本生育）と 75 本枯れていました。

今年度の R I 会長の要望・・・『ひとり 1 本植樹』の目標に応え、飛騨高山高校環境科学科の担当教諭に相談させていただき、本日再植樹が叶いました。

生徒さんから木の説明と植樹の指導のあと、生徒 2 名と会員 2 名が一組になり、イチイの木 50 本・エドヒガンザクラの木 50 本を、新緑のいい季節にいい汗を流しながら植樹しました。

